入善町報

発行所　入善町役場
編集 発行　責任者　寺崎清作
印刷所　池原印刷所
定価1部5円

役場のムードづくり

窓口サービスに大童わ

役場の窓口改善は、合併以来の大きな懸案であって33年度において新町建設計画にもり込んで一部改造（工費二百万）を予算化になりましたが、いろいろの事情により見送りになっていたものです。

このたびの改造は、待合室と窓口のシキリ戸を取り除き工費約十五万円をかけて事務室の中央に廊下を設けてカウンターを増設し、入り易い居心地のよい住民サービス・センター化を意図したものです。

この改善のために町長室が奥の部屋に移りましたが中央廊下の設置で窓口と直結しております。

なお、議会事務局と正副議長議員控室は階上の第一第二会議室に移りました。

住民サービスの職場研修会をもつ

このほど10月24日、町職組でも職場研修会を開き、三分科会に分かれて住民のサービス等について熱心な話し合いが行われました。

第一分科会（人事と待遇）
①人事の異動と管理
②男女格差のとりやめ
③給与改訂は理論給で

第二分科会（事務改善）
①文書送達にバイクを
②事務改善の促進要望
③有線放送の町内一元化

第三分科会（住民サービス）
①窓口に専任の受付係を
②受付や各課の標示を明確に。課配置図の設置
③窓口事務研修会の開催
④下意上達を図るために〃町長に手紙を出す週間〃を実施してほしい

（写真は改装中の窓口）

風物詩　小春日和

財政事情の公表

新規事業は可能な枠内で
全般的に経費の節減を図る

34年度は舟見町と合併して行政規模が拡大された初の年度であり、また前年度において連絡所の完全廃止を行った影響による住民の不便を解消するためなど、連絡広報面の周知に努力してまいりました。

一方、職員の減員計画に基き10名の事務職員の整理を行ったので、職員の配置を再検討して適材適所の配置転換を実施し、併せて課の統合を行い6課を5課制にいたしました。

また、窓口事務の合理化をねらって配給、戸籍、住民登録、保険等一連の体制を整えるとともに、将来の文書集中管理による事務処理の能率化の一端としてタイプや加算機の事務機を購入いたしました。

なお特に、予算の執行にあたっては、毎4半期別の資金計画により予算の配当を行い、才入確定と収入の状況により既定予算の範囲内で極力経費の効率的な支出に努力いたしました。

◇歳入の増収及び確保

<町税>　標準税率を適用し、課税物件の捕捉と適正課税に全力を注ぎ、徴収成績率も現年度97.5%過年度83.1%滞納分72.6%で前年度を上廻るよう努めました。

① 町民税は、個々の実態調査や業者間のアンバランス是正、個人間の均衡などにより捕捉し、固定資産税は家屋の実地調査、土地の年間計画調査などにより評価額の適正と均衡を計って信頼して納税できる基本の確立に対処しました。

② 月別徴収計画により戸別督促を励行し、納税貯蓄組合を指導強化して、納税率による補助金を交付し徴収歩合の引上策を講じました

③ 滞納整理は、督促の発行を励行し、個人、面接、分納誓約、徴収猶予を行うとともに悪質者を滞納処分にしました。

<税外収入>
規定に基づくものは厳重に納入命令を発し、徴収成績99.8%を収めました。

◇支出の抑制及び節減

消費的経費

① 将来の財政負担を考え10名の人員整理を行い人件費の膨張を抑えました。

② 物件費の予算執行は不急不用品の購入を抑制し予算額の10%節減を行いました

③ 補助金の交付には、従来からの惰性的な支出をやめて効率度を検討して補助交付金の対象をきめました。

④ 寄附金負担金は、規制額の枠内支出に努めました。

投資的経費

① 補助事業は、一般財源の充当可能額を検討して緊急やむを得ないものに止めました。

② 単独事業は事業の緊急度、効果、将来の財政負担等を十分考慮して、小中学校の維持修繕を優先し、他は健全財政の枠内で実施いたしました。

③ 繰出金は原則として停止し独立採算の運営とともに全般的に経費を節減し、できるだけ流用などを避ける健全なる執行をモツトーといたしました。

34年度財政再建計画実施状況

区分	計画額	決算額
1税収入	100.002	101.108
2地方交付税	23.030	23.249
3国県支出金	23.127	22.921
4寄附金	9.500	8.900
5その他	27.172	26.954
才入計	182.831	183.132
1消費的経費	108.541	107.718
イ人件費	46.302	45.955
ロ物件費	37.093	33.658
ハその他	25.146	28.105
2投資的経費	49.965	47.798
イ補助事業	27.608	28.305
ロ単独事業	22.368	19.493
3公債費	24.321	24.119
4その他	―	475
才出計	182.831	180.107
(繰越金)	0	3.025

昭和三十四年度

議会だより

国民の生活をよくし、子供を小児マヒから守るための意見書（抜すい）

としをとっても安心してくらせる生活、明るく健康な生活は私たち国民の心からの願いです。

政府も、この国民の要求を無視出来ないので、福祉国家の建設とか、社会保障の確立とかとよく言っておりますがそのやり方は余り感心できません。

入善町議会は地域住民の福利増進のために次のことを意見として申し入れます。

1 国民年金制度を改正し国民が安心するようなやり方にしてください。
2 子供を小児マヒから守るために国民の欲しいだけ生ワクチンやガランタミンを輸入して下さい。
3 生活保護費の支給額を2倍にふやし、社会保障を大巾に改善して下さい

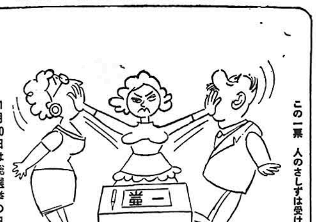
（厚生大臣中山マサ宛）

議員提案

第30回町議会臨時会
監査委員に市岡氏選ぶ
（10月19日）

◇財政再建計画一部変更
◇35年度第5回追加更正（衆議院選挙費のみ27万円を追加）
◇町手数料条例一部改正件（第2条1項の5号＜営業職業に関する証明＞削除）
◇町議会の議員等に対する報酬及び費用弁償の支給に関する条例一部改正件（監査委員月額一〇〇〇円を一五〇〇円に改正）
◇監査委員の選任について同意の件
　市岡　正義　道市・再
◇土地取得の件
　入膳字東寺田（2筆）宅地（43坪）田中　猛
◇土地処分の件
（飯野中学校の敷地の一部を平曽川北改区に払下）
＜報告＞専決処分の件
◇浅海増殖開発築礒工事請負契約締結に関する件（20万8千円で寺林建設と随意契約）
◇寄附採納の件
・簡易金庫1台（一八千円）　田中　正男
・テレビ　1台（六万円）　入善校下婦人会
・拡声機　1台（附属共）（価格六四、八〇〇円）　入善小学校ＰＴＡ（何れも入善小学校備品）
・二七、〇〇〇円吉原漁協（築礒事業費の一部）
・十万円　梨木清次・下野
・五万円　西原三郎・野中
・五万円　薬師義高・中沢
・五万円　稲村政治・中沢
・五万円　上窪辰義・島迷
・三万円　佐道正隆・野中
・二万円　金森与三・中沢
・一万円　酒井伊三・林尻
（野中小学校建設資金）

11月20日は総選挙の日です



この一票　人のさしずは受けません
入善町選挙管理委員会

スポット　手帳なら迷わずに

県民手帳をどうぞ

今年も1961年版富山県民手帳が発行されます。

この編集も毎年皆さんのご要望にお応えして改善工夫を加えてまいりましたが、特に国際知識や全国における富山県の地位、県下市町村の現況など、最新の資料と豊富な内容を盛りこんであり、手軽なポケット事典としての体裁も具えた県民必携の手帳です。

表紙　上質ビニール（鉛筆付）
体裁　ポケット型（11.5×7.0cm）
値段　60円
申込　11月25日までに町総務課迄
発行　11月下旬
内容　日記篇　資料篇　生活篇　名簿篇　附録

★有線放送の公衆電話★

有線放送電話施設の普及はめざましく、7月末現在の調査では全国に2,031団体にのぼつています。

長野県中野市では、この春から市内15ヵ所に有線放送の公衆電話を設けて市民からたいへん重宝がられています。とくに施設除外区域の人たちに好評であるようです。

多少の欠点もありましようが、画期的なものでしよう。なお通話料はとっていない由。

共同募金にご協力を!!

世の不幸をもっと少なく

みんなでもっとよい生活をしたい
みんなが幸でありたいことは、
だれしもの願であり
また、そうすることは、社会全体
のつとめでもある

恵まれない方に私たちの
まごころを贈りましょう

10月1日～12月末日

入善町風土記
…… 第72回 ……

福島神社由来
竹内慎一郎

蓮如上人に随伴し福島を開いた膳所（ゼゼ）の善右ェ門の子孫は、今の平崎昌造氏の一族に当るようである。（奥田新作氏編、家系図中心の歴史）尚善右ェ門開拓後も屢々水害に見舞われ、地域の状況も幾度か変ったもののようで、福沢忠命氏旧記は次のように書いている。

善右ェ門がここにとどまってから後、数度の氾濫によって元の吹島と呼んだ地帯がいくつかに分かれ、福島、福島新、柴川原新、袖沢新、上飯野新、上飯野、赤岩開、荻生、五郎八等の部落をなすに至った。善右ェ門は敬神崇祖の念厚く特に天照皇大神を深く信仰した。

数年後の或年の春のこと季節はずれの熱風が吹きすさんだ或日、善右ェ門はいつものように墾地に出て耕作に従事していた。所がやがて一天にわかにかきくもり、ものすごい豪雨となった。折から雨具の用意もなく、小さい作小屋に避難し雨のはれるのを待ったが、時がたつにつれて益々悪くなり、大暴風雨となって、いつはれ上るともわからなかった。

そのうちに奥山一帯の雪融け水が加わって、黒部の山々をくずしたような大水が善右ェ門の墾地におしよせ、アッという間もなく小屋の屋根裏まで水びたしになり逃げ場もなく、屋根の上につかまってただ一心不乱に天照皇大神を祈った。やがて、はるか上流から小屋の方へ山のような巨木が流れて来た。この巨木が小屋にぶつかれば小屋は木っぱみじんとなるであろうあわや絶対絶命と思った瞬間、小屋の前方約十間ばかりの所で地上一尺余り出ていた石にその巨木のまん中が引っかかった。とみるうちに逆まく水がたちまち左右に分かれ、巨木の裏がわに数尺の土砂をまき上げて高台を作り、小屋の附近の水も引いて一帯の浮島に化した。善右ェ門は万死に一生を得たのであった。あまりの奇異に、これこそ日ごろ信心する天照皇大神のおかげと、尚も大神を祈念しつづけたが、日はすでに没し、春の夜未だ寒く、その上ずぶぬれで、寒気刻々と加わり、疲労と寒と飢で、正に凍死寸前の状態となった。

夜中ごろねむけをもよおし、土の上にくずれるようにひざまずいてうつふせになったと思ったとたん、前の巨木を支えた石が光り輝き神々しい天照皇大神のお姿と化して、すきとおるような音声で「今日の悲劇でそなたは身も心もつかれたであろう。そなたは日ごろ深く私を信仰し、私はうれしく思っています。私はそなたの危難を救うためにこの地に降臨し永くこの地を守りましょう。そなたはこれからも一そう信心して業にはげめば、将来しあわせになるでしょう。ゆめゆめ疑わぬように」というお告げが終ると思うとたちまち姿は消えうせ、夢さめるとあたりはまっ暗であった。

善右ェ門は神徳の広大なのに感銘し、喜びの涙があふれてとどまらず、尚深く頭をたれて祈りをこめ、翌朝夜明けを待って昨夜出現の大神化身の石を泥砂中から掘り上げ、附近の川水でよく洗い清めて巨木の上に安置し、自ら土の上にひれふしていく度もいくたびもふしおがんでから、前の小屋を修理し、仮社殿として大神を安置し、ようやくその日の正午頃にわが家に帰った。妻子の喜びはたとえようもない位で、ひたすら神徳の広大なのに感泣し、その後日夜礼拝してやむことがなかったという。翌年善右ェ門は伊勢参宮を思立ち、巨木の正目一部で作った板を大神宮に持参し、宮司に請うて「天照皇大神」の五字の写しを受け、福島へ帰って御神体の御裏と共に崇敬した。それより善右ェ門の子孫は年と共にふえ栄えたという。

その後松倉城主椎名採八の家臣和田彦三郎（福沢家の祖先か）の一族が漸次集まり住んで一村をなすに至り社殿を造営して氏神となし、吹島の宮又は福島神社と称した。

昭和35年11月10日発行　昭和32年5月22日 第三種郵便物認可　入善町報　（第66号）　（2）

都市計画路線周辺のめざましい進出ぶり

10年後は入善丸の内

この都市計画路線は、町道としての全国的大豊作となったことはうれしいことです。

本町は、耕地の大半が砂質浅耕土で、然も黒部の冷水を灌漑しているため、県内最低位の生産地帯といわれてきましたが、ここ数年の反収水準は県下屈指の地位にのし上り、むしろ米どころといわれるまでになりました。

しかも、反収の上昇はきわめて異常なものがあり、単に豊作か農業技術の進歩というだけでないものがあります。

論説　豊作と流水客土

鬼原文二（新屋）

34年8月県農産課発表の「戦後における富山県旧町村別水稲反収の趨勢」によりますと、22年から32年までの水稲反収の伸びは、下表の通りで、驚異的な数字を示しており、ここ10年間に1石近い反収の伸びがみられます。しかも、県平均に比べると実に6斗以上も上まわっています。

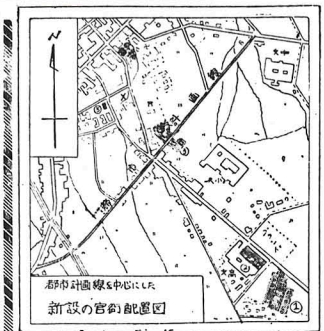
次に黒部川、片貝川、早川、小川沿岸の典型的な砂質浅耕土でも若栗、荻生はなるほど617斗の伸びを示しているが、他はいづれも4斗前後にすぎず、県平均に比べてさほどの違いをみせていないことです。

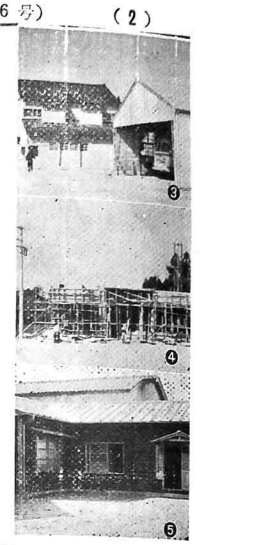
従って、砂質浅耕土地帯だから増収の伸びが高いということにならないのです。

さればこそ早月川流域に一万六〇〇町歩、庄川流域に一万町歩の流水客土を施行するよう関係農家が一丸となって国県に対して一大運動が展開されています。

なお、特記したいことは本町にあっては関西電力黒四ダムの冷水害補償として第二回目の流水客土施行が予定されていることです。

金水田に及ぶ流水客土の施行は、まことに適切な計画であり、すみやかな実施をねがうものです。（上市川沼端用水合口事務所長）





バスセンターは9月5日、海岸事務所は14日に落成。北電営業所は現在工事中で今年一杯で外装以外は完工する予定です。

◇バスセンター（写真③）車庫と事務所の二棟建で階上は職員の宿泊所。常駐バスは担当路線の6台。貸切バスの相談や通勤用のバスや回数券を中継します。

◇北電営業所（写真④）敷地四百坪、建坪一五〇坪の鉄筋一階建で完成は三月頃。（所長田中文作氏）

◇海岸事務所（写真⑤）殆んど海岸工事テトラポット投入事業の直轄で、35年度はテトラ三六〇個、突堤12米。36年度には、テトラ一二六〇個を八幡海岸に投入。（所長大久保正義）

なお、電報電話局も37年に誘致の予定で、このほど敷地五百坪も決定しました。

凸版　①町住上田団地②入善高校③地鉱バス営業所④北電営業所⑤地建海岸事務所

よい行いの人たちに

表彰状や感謝状を贈る

11月2日町長から次の57名の善行者それぞれ表彰状や感謝状が贈られました。

◇社会福祉功労者（3名）林未雄、米沢良吉（入善）松原節子（青水）

◇優良青少年（11名）五十里英彦、広瀬勇司（入善）松原善次（青木）千島島頭幸作（飯野）

◇健康優良児（20名）青島繁晴（横山）宮本孝吉（小摺戸）西尾政己（舟見）矢木勇（飯野）大林義範（新屋）長島充夫（椚山）岩場俊夫、長島啓介郎、柳沢としあ、池原貴一、石川昭男

◇福祉貢金寄附者（5名）伊野清作、佐原作次、立塚清作、立塚由松、井田茂松、井田嘉之作、井田こよし（芦崎保育所へ船主協会）

◇児童福祉功労者（12名）金沢幸一（古黒部）籠瀬コト（上原）

◇善行者（11名）西町同志会、寺田町力行会、米沢良吉、米沢甚吾、福寿会へ百円、寺崎ひとみ、新屋町連合婦人会五千円、竹内源三郎、由井美範、西町同志会、寺田町力行会、米沢良吉、米沢甚吾、福寿会へ百円、寺崎ひとみ、新屋町連合婦人会五千円

福祉金庫へ寄附

硫安価格はすえおき

農事メモ

硫安は国内価格と国外価格と二本建ての値段がつけられていて、輸出するときは国内価格よりずっと安い値段で売られています。

国内の最高販売価格と輸出価格との差が硫安の輸出赤字で七月末には百十五億円の赤字となっています。

それで硫安メーカーは、この輸出赤字をなくするように政府が対策を講じてくれないことには新しい肥料は国内価格よりずっと安い値段で売られています。

なお、電報電話局も37年に誘致の予定で、このほど敷地五百坪も決定しました。

凸版　①町住上田団地②入善高校③地鉱バス営業所④北電営業所⑤地建海岸事務所

校下別	22年	32年	上昇高
入上飯新椚舟野舟	1.974石	2.876石	0.902石
善原野屋山中見	1.946〃	2.873〃	0.927〃
県平均	1.704〃	2.542〃	0.838〃
	1.934〃	2.883〃	0.949〃
	2.012〃	2.774〃	0.762〃
	1.811〃	2.692〃	0.881〃
	2.184〃	2.686〃	0.502〃
	2.136〃	2.788〃	0.652〃
	2.301〃	2.588〃	0.287〃

（木通等の仮設流送路）

☆秋風と化粧品☆

エプロンのポケット

明夕使う水の冷たさが身にしみる頃になると、肌の手入れも億さでカサカサにやられないうちに万全の準備をしたい。

「そんな点はぬかりがない」と自信をおもちの向もあるだろうが、一年中同じ愛用化粧品でことと足りると満足しているなら大間違い。多には多用の化粧品を使うのが道理です。

一般にクリームや化粧水は、肌の性質によって、荒れ性とか脂肪質、中性などを使いわけることはもう先刻ご承知でしょうが、冬い季節はとかく皮膚に脂肪が不足がち。今まで脂肪のないのを使っておられたら、一思いに、脂性の強いものを選び、肌にシットリうるおいをもたせたいものです。

中性や荒れ性タイプは今迄以上に適度な化粧品を使ったり、夜寝前に必ずマッサージをして忘れず栄養クリームをつけてください。

また台所仕事や、洗濯に中性洗剤を使いますと寒さ以上に皮膚が荒れます。

炊事や洗濯のあとは水をよくぬぐって手や指にも栄養クリームをタップリつけましょう。ただこの時、化粧品の切れないのを選ぶのがケンメイです。

選定理由　北海道知床半島の番屋で一人さびしく生涯を終えた一老漁夫の物語

推せん映画

…地の涯に生きるもの…

新議員28名の組織なる

第3回青年議会定例会

（議場スナップ）

このほど、三回目の新議員28名が各校下から選出されて初の組織議会が11月5日開設され、玉池連青団長の挨拶の後、米沢町長、大田議長から郷土愛への呼びかけの激励などあって、午后3時閉議されました。

◇青年議会議長選挙の件　当選　長谷川一郎・新屋

◇同　副議長選挙の件　当選　金沢正治・横山

◇常任委員会委員選任の件　10名

〈総務委員会〉◎三賀博久○杉沢孝浜瀬勝子、中村即宣山崎要逸、宝田智子　長谷川一郎、田中一夫8名

〈厚生委員会〉◎杉本礼子○飛島久明、中沢健一、中山二郎、田原美和子、小沢和枝　決議

近時不良とか非行という形容にあたらない事態をまま聞くが、悪の芽を摘まんがための活動であってはならない。善いものはどんどん伸ばすことが大切である。夢声戦争日記　若き日の山旅手紙とあいさつ　生活のたのしみ　北陸路　わが子に贈る母十三人の手記　横山美智子

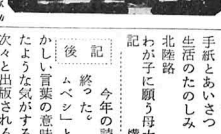
〈産業建設委員会〉◎板川清治○国本上田進、松田武久安、青木政雄、鍵田恭察、金沢正治、広川克生、西島信雄

◇青少年団体活動に関する決議　平崎政光、真岩秀雄　10名

第3回青年祭

◇合唱の部　優秀賞　ほだい樹他　入善校下団

◇演劇の部　優秀賞　雀おどし　◇舞ようの部　優秀賞　金沢民謡の旅　横山校下団　◇器楽の部　優秀賞　お江戸日本橋他　入善校下団



演劇〝ふるさとの歌〟のワンカット

藝能発表会の成績

（6日、中央公民館）

県の防火モデル地区に青木校下が指定される

県民に火災予防の重要性を認識してもらい、お互が少しでも防火設備の完備に協力し、火事があった場合は早く火を消し止めるなど防火推進を期そうと、県下にモデル地区が20カ所指定され、その中で入善町も選ばれ特に防火運動で実績をあげている青木校下が指定を受けました。

このほど防火推進委員22名もきまり9月より1カ年間火元調査や防火指導などに消防団と協力して防火運動の推進にあたるわけです。

北風が裏戸をたたく今日この頃の寒さです。お互にくれぐれも火の元要心いたしましょう。

秋の火災予防週間
11月26日～12月2日

☆種目別最高記録☆

◇100米　＜男40以上＞　b）岡・入善13秒1　＜女子29才以下＞　a）田中・入善15秒2　＜女子30才以上＞　b）町田・入善15秒9

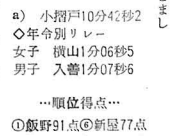
◇200米＜男29以下＞　b）泊・入善25秒2　＜男子30才以上＞　a）西村・上原27秒0

◇1500米＜男子＞　野坂・飯野4分51秒0

◇棍棒倒し＜男女＞　d）飯野　3分06秒5

◇増ころがし＜男女＞　b）青木　4分30秒9

◇順送球＜男女＞



a）小摺戸10分42秒2

◇年令別リレー　女子　横山1分06秒5　男子　入善1分07秒6

…順位得点…

①飯野91点⑥新屋77点　②小摺戸90⑦上原73点　③入善86点⑧野中68点　④青木83点⑨舟見67点　⑤横山78点⑩椚山61点

第3回体町　町長杯は飯野校下に

今年の町体は、最終レースまで予断を許さない熱戦力斗の連続で比較的に各校下ともに力が接近し、前回下位の青木校下のめざましい進出や野中校下の女子リレーの優勝は力強いものを感じます。ただ会場が狭いとは残念なことです。

a）小摺戸10分42秒2　◇年令別リレー　女子　横山1分06秒5　男子　入善1分07秒6

…順位得点…

①飯野91点⑥新屋77点　②小摺戸90⑦上原73点　③入善86点⑧野中68点　④青木83点⑨舟見67点　⑤横山78点⑩椚山61点

新着図書案内

あたらしい本

高橋義孝　草木寺　山崎斌　福田蘭童　井の外の蛙　奥野信太郎　浮世くずかご　山本健吉　日本の思想家　伊藤正徳　実録大平洋戦争　徳川夢声　夢声戦争日記　田部重治　若き日の山旅　角川源義　手紙とあいさつ　藤原定

後記

今年の読書週間も終った。「灯火親しむべし」という古めかしい言葉の意味が失われようとする気がする。書物は次々と出版されるので書物への飢えがなくなったことが当今の読書ではないか。殿前、中期切の「銀の匙」、薄田泣菫の「猫の蚤笑」を手に入れたころが思い出される。近頃は、本に追いかけられ、おどかされているようである。読書というものは、それが徳になろうと、損になろうと読まずにおられないというのが本体でなかろうか。（曳田）